

# 地区研究大会報告

知多地区

知多地区事務局員 間瀬 公治（愛知県立阿久比高等学校）

- 1 日時 平成 31 年 1 月 22 日（火） 14:00～16:15
- 2 会場 愛知県立阿久比高等学校（知多郡阿久比町大字阿久比字尾社 2 番地の 1）
- 3 日程 13:30 受付  
14:00 開会行事  
会長挨拶 愛知県立阿久比高等学校長 三宅 美香  
14:10 研究実践の報告  
愛知県立半田商業高等学校（定時制）教諭 細山 光也 先生  
「ごんぎつねと南吉の科学」  
15:00 「NHK for School」のコンテンツの紹介、各校の情報交換  
15:40 講評及び講話  
「視聴覚教材の活用事例と ICT を活用した授業の方向性について」  
愛知県総合教育センター研究指導主事 原田 拳志 先生  
16:10 質疑応答  
16:15 閉会・諸連絡

4 参加者 12 名

5 感想

研究実践の報告では、新美南吉の「ごんぎつね」を地学基礎で取り扱った授業例について話を伺った。PowerPoint を利用して NHK for school の映像を生徒に見せ、物語中に登場する様々な生物を映像とともにわかりやすく解説しているものであった。地元出身の作家が書いた作品ということで非常に馴染みのある作品を生物学・地学の視点で扱った授業はとても新鮮で、生徒の興味を引き出すものであった。また、プロジェクターの持ち運びやセッティング等に関しても、短い放課の時間内で行うことのできる工夫がされていた点は参加した先生方の関心を集めていた。

講話では、様々な ICT 機器を使った授業の実践例が講義された。Google の質問用紙アプリケーションと QR コード作成ツールが紹介された。当該アプリはアンケート結果を自動で集計するため、非常に簡単に授業アンケートや毎日の復習ができるそうである。その場で、参加者に実際にアンケートに回答してもらったところ、すぐにその集約結果が提示された利便性を目の当たりにしたことから、多くの先生は、教員の業務の軽減にも利用したり、生徒の毎日の復習に使ったりする際に非常に有用であろうと感じたと思う。

多くのアプリケーションがある中で、我々教員は生徒により良い学びを提供するために ICT 機器についてより研究を重ねていかなければならないとこの研究会を通じて考えた。生徒の学習効果を上げるために ICT を適切に運用できるよう、教員間の情報共有と研鑽を怠らず行っていきたい。